

総合患者支援センターニュース

〒700-8558
岡山市北区鹿田町2丁目5番1号
岡山大学病院
総合患者支援センター
☎086-223-7151 (代表)
☎086-235-7744 (直通)

Integrated Support Center for Patients and Self-learning
Okayama University Hospital



センターの活動に関してはホームページ
(<http://www.cc.okayama-u.ac.jp/~iscps/>)
をご覧ください。



ご挨拶

総合患者支援センター センター長
森実 真



今年4月から総合患者支援センター長を拝命いたしました副病院長(企画・総務運営担当)の森実 真(もりざね しん)です。どうぞよろしくお願いいたします。当センターは患者さんへ医療・看護・福祉の点から、包括的で継続的な支援を提供するために設置され、種々の相談に応じ、院内外の医療連携を行っています。医師、医療ソーシャルワーカー、看護師、薬剤師、事務職員を中心スタッフとし、患者相談、入退院支援、地域医療連携に努めています。昨年度は入退院支援の統合、日常業務の見直し、対象の拡大、情報の一元化、センター拡充に伴うフロア移転を目指して頑張ってきました。

私自身も昨年度は副センター長として、特にオンライン予約システム「カルナコネクト」の導入(2022年6月1日)に注力してまいりました。特長として、①インターネット環境があれば、24時間365日、いつでも簡単に予約ができます。②データセンターの管理により、万全のセキュリティ体制です。③医療機関の先生方のご利用にあたって、費用は掛かりません。現在22の診療科が参加しており、本システムをご利用になるご施設も徐々に増えてきております。

加えて、地域医療連携部門はFAX予約取得時間短縮を目指した様々な取り組みを行いました。これまでは当院の専門性が高いこと、また新型コロナウイルス感染症の流行などから、ご記載いただく質問事項などが非常に多くなり、各診療科独自の診療科ルールの多さと相まって、FAXのお返事に大変時間がかかっていました。そこで、診療科ルールの撤廃、FAX用紙の記入事項の見直し、スタッフ数・配置の見直し、初診患者ID取得ルールの簡略化などを進め、FAX予約取得時間を大幅に短縮いたしました。今後も引き続き体制を整備し、これまで以上にスムーズでストレスフリーな地域医療連携を構築できるよう尽力してまいります。

最後になりましたが、今年も、引き続き当センターに対するご支援・ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

～地域医療連携部門からのお知らせ～

◆岡山大学病院連携医療機関への取組みについて

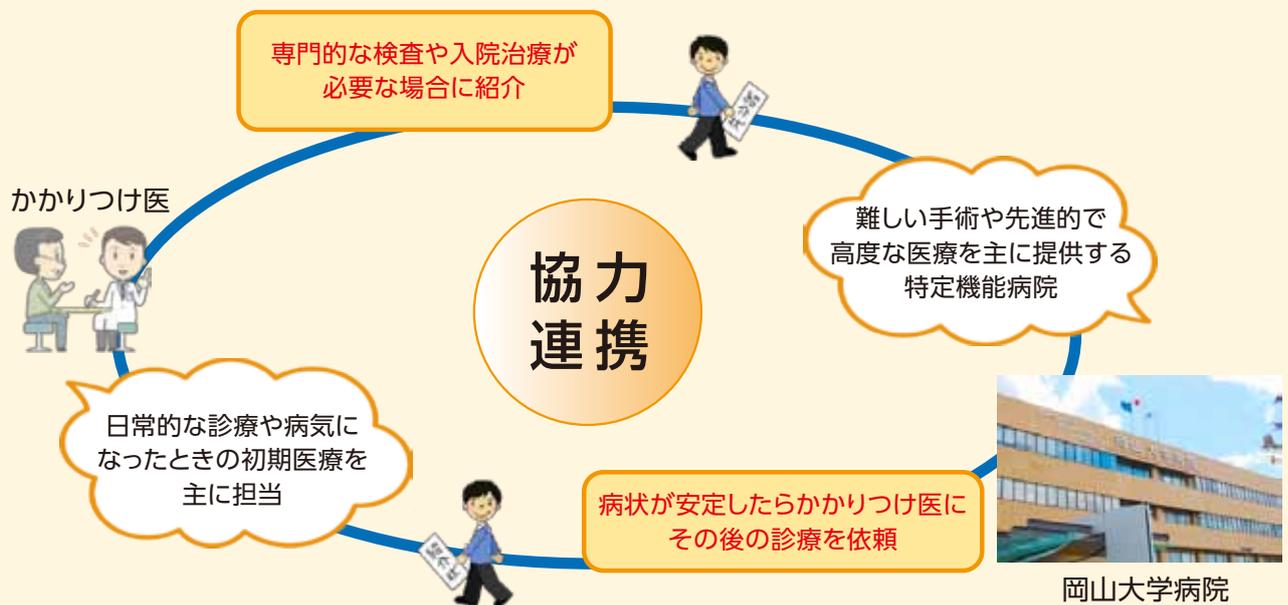
当院では、地域へ根ざした病院として地域の医療機関との前方・後方連携をさらに深め、より円滑な医療の連携を行うために平成24年度から連携医療機関認定制度の運用を行っており、現在、198の医療機関と連携を行っております。

この取り組みは、当院地域医療連携の趣旨にご賛同をいただいた病院や診療所に「連携医療機関認定証」を発行することにより、必要時に当院へ紹介・受診も可能である旨を患者さんに認識していただき、より良い医療連携の構築を目指すものです。

「連携医療機関認定証」を発行させていただいた医療機関については、患者さんに情報提供する目的で外来棟1階の自動支払機の上へ掲示しておりますので、ご参照いただけます。

なお、当院ホームページへも掲載しておりますのでご参照ください。

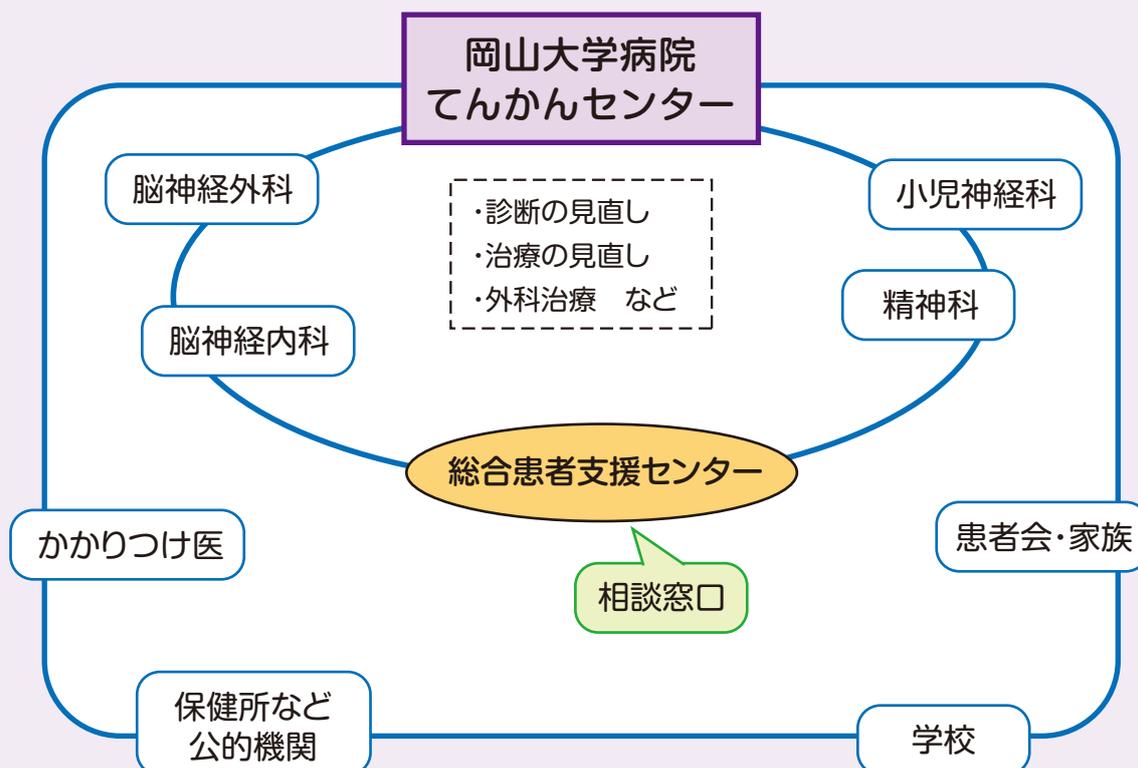
(<https://www.okayama-u.ac.jp/user/hospital/index62.html>)



てんかんセンター 相談窓口のご案内

てんかんセンターでは、地域の医療機関からの紹介で診断・治療の見直し、外科治療の適応の判断などを行っています。

てんかんの治療については、脳神経外科、脳神経内科、精神科、小児神経科が担当しています。総合患者支援センターは、てんかんセンターの相談窓口として、各種相談をお受けしています。



【てんかんセンター(総合患者支援センター)で相談できること】

- ・地域の医療機関を紹介してほしい
- ・小児科から成人科への移行について病院を紹介してほしい
岡山県医療ネットワークによる連携で、継続しててんかんの治療が行われる医療機関を紹介します。
- ・てんかんセンターの予約を取りたい
該当の診療科に、かかりつけの医療機関から当院の初診予約担当を通して予約が取れます。該当の診療科が決められない場合、ご照会内容を確認して総合患者支援センターで調整します。
- ・福祉制度を利用したい
状態をお聞きしながら、福祉制度や各種サービスの利用方法について情報提供し、地域の医療機関につなぎます。(自立支援医療「通院公費」、精神保健福祉手帳、障害年金など)

患者さん、ご家族に限らずどなたでもご相談をお受けします。お気軽にご利用ください。

～入退院支援の取り組みについて～

2022年8月から入退院支援のしくみが整い、入院早期から退院支援に取り組める体制になりました。各病棟に退院支援の担当者（看護師と医療ソーシャルワーカー）を配置して、医師・病棟看護師・薬剤師・リハビリ担当者などの多職種と連携を取りながら、退院支援に取り組んでいます。他の医療機関やケアマネージャーなど地域の支援者の方とも連携をとり、スムーズに在宅療養の体制を整えるように支援を行っています。



病院ボランティア活動「園芸」のご紹介

コロナ禍の中でも園芸ボランティアは屋外の活動なので継続して行っていました。院内の庭の手入れをして下さり、患者さんの憩いの場を作って下さっています。新型コロナウイルス感染拡大予防のため、病院ボランティアの募集を中止していましたが、今年度4月～5月にかけて「園芸ボランティア」のみ募集を再開しました。

今後は他の病院ボランティア活動も再開できるよう進めたいと考えています。

